

建築概論（A 専門科目）

=====

科目名：

建築概論（英文科目名：Introduction to Architecture）

2 単位 建築学科 1 年 通年 講義

担当教官：

山本嘉孝（居室：建築学科棟 2 階）Email:yamayosi@oyama-ct.ac.jp

白石光昭（居室：建築学科棟 3 階）Email:shiraish@oyama-ct.ac.jp

奥富利幸（居室：建築学科棟 2 階）Email:okutomi@oyama-ct.ac.jp

松村光太郎（居室：建築学科棟 2 階）Email:kotaro@oyama-ct.ac.jp

授業目的：

建築学の全容について概説し、建築の基礎的な学力を修得する。

達成目標：

今後、建築学を学んでいく上で、建築に興味を持ち、建築の基礎的な知識を習得する。

教科書：

・日本建築学会編：「構造用教材」 丸善

参考書：

学習方法：

予習-建築に興味を持つために、日頃から周囲の風景や建築物に気を配るように心懸ける。

授業-

復習-

学習保証時間：

講義 100 分[時間 / 週] × 30[週] = 3000 分 / 年 = 50 時間 / 年

キーワード：

建物の変形、地震力、地盤沈下、自然環境、環境問題、都市計画、構造、材料

授業内容：

山本嘉孝担当

1. 建築と土木
2. 道路・橋とトンネル
3. 建物に作用する荷重
4. 建物に入力される地震荷重

松村光太郎担当

1. ガイダンス(建築とは何か?)
2. 建築と材料・施工
3. 建築と構造
4. 建築と自然環境
5. 建築と環境問題
6. 建築と都市計画
7. 建築と芸術性

白石光昭担当

- 1．建築計画とインテリア計画
- 2．空間と人（内側からの発想）
- 3．空間と人（人とモノの寸法）
- 4．空間と人（空間の心理）
- 5．空間と人（室内環境～音，光，色，熱～）
- 6．建築空間事例

奥富利幸担当

- 1．住まいの歴史
- 2．住まいの役割
- 3．住まいの構成
- 4．住まいのディテール
- 5．住まいの環境
- 6．住まいの構造

授業方法：

カリキュラム中の位置づけ：

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

中学校までの一般常識(特に理科)

この科目と同時に学ぶ関連科目

図学(1 年通年)，建築製図（1 年通年），基礎数学 A，B (特に三角関数)，

この科目の後に学ぶ関連科目

建築計画、建築構造

評価方法：

松村光太郎担当

定期試験(40 %)とレポート(40 %)および受講態度(20 %)で採点する。

白石光昭担当

レポート（70 %）および受講態度（30 %）で採点する。

奥富利幸担当

授業への出席状況(20 %)とレポートの内容（80 %）により評価する。

連絡事項：

4 名の担当で，授業を行うため，それぞれの担当によって，授業方法や採点方法が異なる場合がある。

学生へのメッセージ：

=====